

NEWSLETTER

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

2015. 8. 10

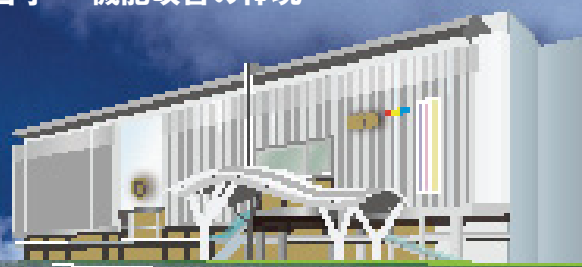
第16回

2015. 9.27 sun

JR 博多シティ
JR 九州ホール(9F)
(JR 博多駅直結)

咬合フォーラム

新・顎咬合学 ～機能改善の体現



第16回 咬合フォーラム プログラム/抄録…………… 3

学術委員長挨拶
倉富 覚



顎関節の臨床的機能と咬合のとらえ方
松島 正和



機能咬合療法に基づいた歯科医療
—— 咀嚼・発語・平衡から顎機能を体現する ——
永井 省二



咬合治療の手順とその結果
下川 公一

理事長挨拶…………… 2

第16回 咬合フォーラムに寄せて

第33回学術大会報告…………… 5

第33回学術大会 表彰者一覧

第34回学術大会・総会のお知らせ
理事長退任のご挨拶

Informations…………… 7

74

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 ニュースレター No.74



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201
TEL: 03-6683-2069 FAX: 03-6691-0261

2015年度 第16回 咬合フォーラムに寄せて

新・顎咬合学が創る健口長寿



特定非営利活動法人 日本顎咬合学会
理事長 上濱 正

これが咀嚼の本体です。「咬合・咀嚼が創る健康長寿」（日本学術会議咬合学研究連絡員会編）から科学的根拠を基盤に歯科口腔臨床を考え、実践していくことが新・顎咬合学の本体であり「国民・患者・歯科医療専門職を健康で幸福にする」と確信しています。

本学会の歯科医療専門職は「国民に生涯にわたり噛んで食べることの重要性を認識させ、国民の健康な咬合・咀嚼を提供すること」が大切であると考えています。

咀嚼の基本をなす咬合を考え、検査・診断・治療・管理を向上させることで患者の日常生活の質を向上させることは、会員に課せられた命題と考えています。

まさにぴったりのテーマを考え演者を選定していただいた上田秀朗次期理事長、倉富 覚学術委員長、田中憲一支部長、九州・沖縄支部役員の皆さまに心より御礼を申し上げます。

歯科医療専門職である日本顎咬合学会会員の皆さまが、福岡に集まり有意義な時間を過ごしていただければ幸いです。

2015年度第16回咬合フォーラムの開催を心よりお喜び申し上げます。

テーマ「新・顎咬合学～機能改善の体現」は九州・沖縄支部の役員の方の英知の賜物と推察いたします。

日本顎咬合学会は会員数約9,000名を擁する最大級の歯科臨床系の学会に発展し、「生涯にわたる顎口腔系の重要性、すなわち生涯にわたり噛んで食べることが健康長寿に貢献すること」（新・顎咬合学）を書籍、新聞、雑誌などで臨床例から啓蒙してきました。その評価は日増しに高まっています。

これからの2年間は「新・顎咬合学が創る健口長寿」を学会方針として制定しました。

食脳は噛む前に食物を認識し、食物を噛んでいる際には刻々と変化する機械的受容性感覚（硬さ・大きさ）、温度、味などの情報が中枢全体に伝達され、それとともに脳は活性化し、血流量も増加し、安定した嚥下が誘発されます。

学術委員長挨拶



倉富 覚

咬合フォーラムも今回で16回目を迎えました。本年6月に開催された学術大会では、メインテーマを「新・顎咬合学 機能を表現する。機能を捉える。機能を発信する。」とし、幅広い分野にわたる講演が行われ、盛会のうちに幕を閉じました。このテーマは本会会員の増田純一先生（佐賀県ご開業）がご自身のご講演のなかでよく使用される言葉です。その流れを引き継ぐ形で、今回の咬合フォーラムでは日本顎咬合学会の原点ともいえる「咬合」に焦点を絞り「新・顎咬合学～機能改善の体現」というテーマで開催させていただくことになりました。日本顎咬合学会が推進している「新・顎咬合学」も集大成の時期にさしかかり、メディアに取り上げられることも多く、歯科と全身の関わりについて国民の理解が深まった反面、われわれ歯科医師が現場で行う臨床のスキルアップの必要性を痛感しています。今回は松島正和先生（東京都ご開業）、永井省二先生（宮崎県ご開業）、下川公一先生（福岡県ご開業）の3名の先生にご登壇いただき、臨床家の観点から機能改善の道標を解説していただきます。また、上野道生先生（日本顎咬合学会元理事長）に座長の労をお願いし、3名の先生方のご講演を紐解くナビゲーターとなっていただきます。

最後に今回の開催にあたり、ご尽力いただきました田中憲一九州・沖縄支部長はじめ支部会員の先生方に厚く御礼申し上げます。

Program



座長：上野 道生（福岡県北九州市開業）

M I C H I O U E N O

1976年 九州歯科大学卒
 1976年 北九州市八幡東区秋野歯科勤務
 1978年 北九州市八幡西区医生ヶ丘にて開業
 日本顎咬合学会 元理事長

10:20～11:50 顎関節の臨床的機能と咬合のとらえ方



松島 正和

1990年 日本歯科大学
 歯学部卒業
 2003年 医学博士号取得
 現在
 日本歯科大学新潟生命
 歯学部非常勤講師
 日本大学医学部病理学
 教室特別研究員

補綴治療の原則は残存組織の保全、機能回復率の向上、そして審美性の回復です。歯科治療の分野はいろいろありますが、治療結果の最終目標は顎関節に適切に機能してもらうことです。いくら、ありとあらゆるアカデミックな治療が口腔内に施されていても、肝心の顎関節がうまく機能しないのでは目も当てられません。そのために、私たちは顎関節と咬合の関わりあいを詳細に理解することが必要となります。

今回の講演では

- ・顎関節、筋、靭帯の臨床的なくみ！
- ・代表的な顎関節症の発症メカニズムと病態！
- ・顎関節と咬合の関わりあい！
- ・日常臨床での対応！

などについて動画等を多数用いて分かりやすく解説したいと思います。皆さんの明日からの臨床に役立てば大変うれしく思います。

休憩 60分

12:50～14:20

機能咬合療法に基づいた歯科医療

—— 咀嚼・発語・平衡から顎機能を体現する ——



永井 省二

1983年 福岡歯科大学
卒業1988年 鹿児島大学大
学院修了1988年 国立都城病院
歯科口腔外科勤務1991年 宮崎県都城市
で開業

日常臨床における歯科治療の目的は、咀嚼障害を起こした患者に対する咀嚼機能の改善にあることは異論のないところであろう。その目的のために解剖学的形態やある限られた下顎の動的な改善を目指して治療が行われてきたが、近年様々なME機器の開発に伴ってその評価法も変化し、機能改善の可視化が少しずつ可能になってきている。

当院でも1994年から3自由度咀嚼運動解析機器を導入し、20年にわたって形態的な改善はもとより、咀嚼運動の改善を第一の目標に歯科治療に取り組んできた。そして治療に伴う発語運動領域の変化や姿勢や顔貌の改善とともに、患者の持つ随伴症状の驚くべき改善を数多く経験してきた。咀嚼機能の改善を第一の目的に行ってきた歯科治療が、単なるリハビリテーションに止まらず、患者の栄養状態や体組成の改善（健康づくり）、さらには精神心理的な改善にまで大いに貢献している可能性があるとして現在では確信している。

当院ではこの機能の改善を目指す総合的な診療体系を機能咬合療法と名付け、本学会で幾度か報告してきているが、今回はその概要とともに、20年にわたって蓄積してきたデータ解析を基に医療としての歯科の側面に迫ってみたいと考える。

皆様と有意義な意見交換ができれば幸いです。

休憩 10分

14:30～16:00

咬合治療の手順とその結果



下川 公一

1968年 福岡県立九州
歯科大学卒業1973年 北九州市小倉
北区開業2004年 福岡県立九州
歯科大学臨床教授
経基臨塾塾長

本来顔貌は、左右シンメトリーな状態での審美性を考えるべきであろう。もしそこに問題があるとするならば、その原因を探らないといけませんが、その多くは咬合に問題がある場合が多い。蝶形骨は、顔面頭蓋の中央に三次元的に存在し神経頭蓋と顔面頭蓋の境界をなし、上面観は羽を広げた蝶の姿に見える複雑な形の無対性の骨である。

蝶形骨は9種の周囲の骨と相接しており、Sphenoidaleはクサビ(sphen)に似た(eidos)という意味である。蝶形骨の翼状突起には、左右に外側翼突筋と内側翼突筋が付着しており顎運動の重要な役割を果たす。そのために咬合に問題があり、左右の咬合力に違いがあると蝶形骨はわずかではあるが変形をきたし、その周囲の相接したそれぞれの骨にも影響が出てそれが顔貌の変化として現れることとなる。よって、咬合治療を行う場合は、正しい中心咬合位でスムーズな顎運動と咬合関係に改善すると、蝶形骨の変形が改善され、歪んだ顔貌が左右シンメトリーになっていく。そして、その人本来がもっている美しい顔貌へと、変化していくこととなる。そこで、私の咬合治療の目的とその概念は、まず上顎歯槽弓を顔面頭蓋の正しい位置で左右均等に位置づけるための歯牙移動を行って、それに合わせて下顎を嵌合させ適正顎位を探ることにある。今回はその手順と顔貌の歪みについて症例を通して説明してみたい。

16:00～16:30

discussion

第16回 咬合フォーラム 参加登録について

日時

2015年 **9月27日(日)** 10:15 ~ 16:30 (開場 9:50)

会場

JR博多シティ JR九州ホール (9F, 博多駅直結)

参加費

- 会員歯科医師…………… 5,000円
- 会員歯科技工士…………… 1,000円
- 会員歯科衛生士…………… 1,000円
- 準会員…………… 無料
- 非会員歯科医師…………… 10,000円
- 非会員歯科技工士…………… 1,000円
- 非会員歯科衛生士…………… 1,000円
- 歯科助手…………… 1,000円
- 臨床研修医・学生…………… 1,000円

※ご入金後はキャンセル・ご返金はできませんのでご注意ください。

事前参加登録申込締切 2015年 **8月31日(月)**

参加登録費お支払期日 2015年 9月 7日(月)



会員カードを忘れずにお持ちください。入場の際に出欠を取らせていただきます。

申込方法

ホームページ(URL: <http://www.ago.ac>) もしくは FAX でお申込みください。
※申込用紙はホームページよりダウンロードできます。(http://www.ago.ac/16th_kougou/16th_kougou.pdf)

決済方法

ホームページの場合	クレジット決済, コンビニ決済
FAXの場合	郵便局お振込

振込用紙はお送りしませんので口座振込していただくか、郵便局備え付けの用紙にご記入いただきお振込ください。
※振込用紙通信欄には、必ず参加される方の会員番号、氏名をご記入ください。

◆ 郵便局からのお振込みの場合

郵便振替口座番号 **00150-0-426425**
名義：日本顎咬合学会

◆ 他金融機関からのお振込の場合

ゆうちょ銀行 **019** (ゼロイチキョウ) 支店
当座：**0426425** 名義：日本顎咬合学会

第33回 学術大会報告

6月27日, 28日, 東京国際フォーラムにて, 第33回日本顎咬合学会学術大会・総会が開催されました。2日間で, 5,073名の参加者をお迎えして, 成功裡に閉会いたしました。AAP (American Academy of Periodontology: アメリカ歯周病学会) 現会長, Joan Otomo-Corgel 先生による特別講演をはじめ, 多くの貴重な講演, そして, 臨床に即した, レベルの高い口演発表, ポスター発表の観智が会場を満たしました。参加いただきましたすべての関係者に感謝申し上げます。



職種別参加者数(7月現在): 歯科医師 2,986名 歯科技工士 477名 歯科衛生士 866名
歯科助手 196名 賛助会員 141名 臨床研修医・学生/その他 407名

第33回 学術大会 表彰者一覧

若手歯科医師の登竜門 支部選抜優秀発表者

田中 一茂 歯科医師(矢澤一浩賞)

学会誌優秀論文賞

仲筋 宣子 歯科医師部門 谷内 秀寿 コデンタル部門 (歯科技工士)

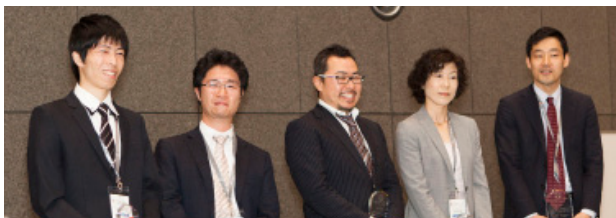
佐藤 博宣 歯科医師部門





第 32 回学術大会優秀発表者(口演)

中村 浩明 (歯科技工士)	樋口 琢善 (歯科医師)
堀 洋一 (歯科医師)	近藤 英臣 (歯科医師)
遠山 敏成 (歯科医師)	廣田 哲哉 (歯科医師)
櫻井 健次 (歯科医師)	谷本 幸司 (歯科医師)
志田 夕季 (歯科衛生士)	東田 淳一郎 (歯科医師)



第 32 回学術大会優秀発表者(ポスター)

土井 博史 (歯科医師)	筒井 祐介 (歯科医師)
齋藤 大成 (歯科医師)	石川 美智代 (歯科衛生士)
芳賀 剛 (歯科医師)	



メーカー賞

カボデンタル賞	仲筋 宣子 (歯科医師)
	菅崎 紳 (歯科医師)
モリタ賞	渡邊 一史 (歯科技工士)
ヨシダ賞	川畑 絵梨 (歯科衛生士)

第 34 回 日本顎咬合学会学術大会・総会

《テーマ》 **新・顎咬合学が創る健口長寿**

《開催日》 2016 年 **6 月 11 日(土)・12 日(日)**

《会場》 東京国際フォーラム



理事長退任のご挨拶

渡辺隆史

この度、第 33 回学術大会・総会をもって、2 期 3 年の任期を終えて理事長を退任いたしました。最後に 3 年間で振り返ってご挨拶申し上げます。

私が理事長を拝命した 2012 年は、学会創立 30 年を迎えた年でした。第 30 回記念学術大会では、それまでの学会活動の総括を行いました。一つの節目を終えて、今後は新たな視点で学会活動を行っていく必要があるとの議論になり、第 31～35 回大会までの 5 年間の中期テーマを「新・顎咬合学」とし、大きな柱に据えたのが「全身の健康を維持するためには、良く噛むことが大切である」ということを国民に啓発することでした。つまり小児治療と高齢者治療が両輪となって、噛むことの重要性を広く国民に伝えることを目的としました。乳幼児から小児期に獲得された口腔の

正しい機能は一生の財産になること、残念ながら失われてしまった口腔機能も正しい治療で回復できること、そして高齢者にとって口腔機能を回復することが全身の健康維持において最も重要であること、これらのことを伝えていくことです。また、その目的を達成することは、医療分野において歯科の果たす役割がいかに大きいかということを示すことになり、医科歯科連携を推進するための原動力になるはず。この啓発事業は、全国を行脚して講演活動をしていただいた、河原英雄先生、増田純一先生、河津寛先生、夏見良宏先生、上濱正先生(現理事長)の 5 名の先生のご尽力によるものです。この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。この啓発事業の成果は、小学館新書『噛み合わせが人生を変える』の発刊に止まらず、各紙新聞や雑誌にも取り上げられ、会員の皆様にもその目的が浸透したように思います。この火を絶やさずことなくこれからも啓発活動は続けて行かなくてはなりません。

さらに、理事長就任時の目標として「若手歯科医師の育成」と「支部活動の活性化」を掲げました。今後の歯科界を担う優秀な臨床医を育成することは、当学会に課せられた大きな役割の一つです。しかしながら学会のデータをみると、20代の若手歯科医師の占める割合が極端に少ないことに驚きました。一口腔単位で質の高い治療ができるようになるには、あらゆる分野をバランス良く学ぶ必要があります。そのためにはできるだけ早い時期に、目指すべき臨床の姿を見て触れていただきたいとの思いから、学生会員のシステムを構築し、学生と研修医は学会大会を無料として参加を促しました。その結果、この3年で20代の歯科医師と歯科学学生の参加は2倍に増加しましたが、30代までの若手歯科医師の占める割合は、30%余りとまだまだ少なく感じています。今後も若手歯科医師が魅力と感ずることができる学会運営をしていかななくてはなりません。

また、支部の活性化なくして本部活動の活性化は起こりません。支部活動の充実は非常に重要です。現在、6支部に分かれ活動していますが、各支部には特色があり、それぞれに大変活発な活動が行われてきました。しかし、各支部間の横の連携が不十分な状態でした。そこで、支部委員会を立ち上げ、支部間の交流を高めていくようにしました。その結果、意見交換が進み、支部学会大会の抄録集の統一など成果が上がってきました。

学会には登竜門のような、上を目指そうとする仕組みが必要です。そして、学会の大きな目標の一つは会員発表の場を作ることです。会員の皆様におかれましては、支部学会大会や、研修会の活動を通して研鑽を積み、日頃の臨床成果を気軽に発表していただきたいと思っております。それが本部の学会大会でのポスター発表や一般口演につながり、やがてテーブルクリニックや依頼講演で発表をして、日本を代表するような臨床医として活躍されることを願っております。

Informations

● 準会員(学生会員)登録のご案内

準会員(学生会員)のご入会を希望される場合は、臨床研修医証明書又は学生証コピーのPDF又はJPEGファイルをご準備の上、学会HP→新入会→準会員登録ホームよりお申し込みください。

準会員 学生(歯科技工士学校・歯科衛生士学校を含む)及び研修医及び大学院生(社会人大学院生を除く)

会費 入会金:1,000円 年会費:2,000円

特典 ・本部学会大会、咬合フォーラム、支部学会大会に無料で参加することができます。

・会員証を発行致します。

・学会大会抄録、学会からのお知らせ(学会大会、研修会案内) News Letter をお送りします。

・準会員から正会員に移行する際は正会員の入会金は免除されます。

・希望者には学会誌を実費にて頒布致します。(1冊3,500円)

※認定受験資格の会員歴は正会員に移行後からが対象となります。

● 2015年度 認定医・認定歯科技工士・認定歯科衛生士検定試験結果報告

今年度の認定医検定試験、認定歯科技工士検定試験は4月19日(日)にJA共済ビルカンファレンスホール(東京)で実施されました。また、認定歯科衛生士検定試験は2014年9月～2015年2月に6支部の各会場にて実施されました。その後、4月19日(日)の認定審議会・認定審議運営委員会の合同委員会において厳正な採点が行われ、その結果は6月26日(金)開催の理事会で審議され、新たに認定医176名、認定歯科技工士31名、認定歯科衛生士82名が承認されました。認定された皆様方の検討を讃えらるとともに、今後のご活躍を期待しております。

(認定審議会委員長 平井 順)

【認定医検定試験】受験者195名・合格者176名

【認定歯科技工士検定試験】受験者36名・合格者31名(100点満点11名)

【認定歯科衛生士検定試験】受験者82名・合格者82名(100点満点41名)

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 News Letter 74

発行日:2015年8月10日

発行者:上濱 正

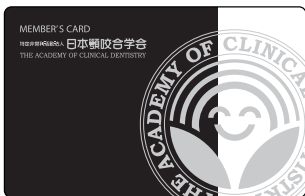
特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-8-2 山京半蔵門パレス201

TEL:03-6683-2069 FAX:03-6691-0261 E-mail:nichigaku@ago.ac

◆ 2015年度 各支部の事業予定 (自 2015年4月1日～至 2016年3月31日)

支部名	区分	開催日	会場	内容、講師等
北海道	認定医教育研修会	2015年 10月31日(土)	北海道歯科医師会館 (札幌市)	テーマ:「今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科」 福本 雅彦 先生 (日本大学松戸歯学部臨床病理学講座教授) 柴原 孝彦 先生 (東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授)
	支部学術大会	2015年 11月1日(日)	北海道歯科医師会館 (札幌市)	特別講演 小出 馨 先生 (日本歯科大学新潟生命歯学部教授) 村上 恵子 先生 (東京都・村上歯科医院) 会員発表 5題
東北	認定医教育研修会	2015年 11月14日(土)	ビッグアイ市民交流プラザ (福島県郡山市)	テーマ:「今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科」 井上 孝 先生 (東京歯科大学臨床病理学講座教授) 龍田 恒康 先生 (明海大学歯学部病態診断治療学講座准教授)
	支部学術大会	2015年 11月15日(日)	ビッグアイ市民交流プラザ (福島県郡山市)	テーマ:「GPのための総合診療～一本の歯の保存からはじまるチーム医療～」 特別講演 塚原 宏泰 先生 (東京都千代田区開業) 会員発表 8題
関東 甲信越	認定医教育研修会	2015年 10月24日(土)	バシフィコ横浜 会議センター5階 (神奈川県横浜市)	テーマ:「今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科」 井上 孝 先生 (東京歯科大学臨床病理学講座教授) 柴原 孝彦 先生 (東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授)
	支部学術大会	2015年 10月24日(土) 25日(日)	バシフィコ横浜 会議センター5階 (神奈川県横浜市)	テーマ:「ワンランク上の歯科臨床を実現!! コア臨床技術をブラッシュアップ!」 基調講演 6題・テーブルクリニック, ハンズオン 7題・会員発表 8題
中部	認定医教育研修会	2015年 11月22日(日)	ジーシー名古屋営業所 (愛知県名古屋市)	テーマ:「今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科」 福本 雅彦 先生 (日本大学松戸歯学部臨床病理学講座教授) 柴原 孝彦 先生 (東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授)
	支部学術大会	2015年 11月23日(月・祝)	ウインクあいち (愛知県名古屋市)	特別講演 南 清和 先生 (大阪府大阪市開業) 会員発表 4題
近畿 中国 四国	認定医教育研修会	2015年 11月7日(土)	AP大阪駅前梅田1丁目 APホール (大阪府大阪市)	テーマ:「今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科」 井上 孝 先生 (東京歯科大学臨床病理学講座教授) 嶋田 淳 先生 (明海大学歯学部病態診断治療学講座教授)
	支部学術大会	2015年 11月8日(日)	AP大阪駅前梅田1丁目 APホール (大阪府大阪市)	特別講演 小川 洋一 先生 (東京都中央区開業) 会員発表 4題
九州 沖縄	認定医教育研修会	2015年 11月28日(土)	電気ビル本館 8号会議室 (福岡県福岡市)	テーマ:「今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科」 福本 雅彦 先生 (日本大学松戸歯学部臨床病理学講座教授) 柴原 孝彦 先生 (東京歯科大学口腔顎顔面外科学講座教授)
	沖縄県主催 認定医研修会	2016年 2月28日(日)	未定(沖縄県)	未定
	支部学術大会	2015年 11月29日(日)	電気ビル本館 8号会議室 (福岡県福岡市)	会員発表 9題



◆ 会員カード発行のお知らせ

平成24年度より会員カードを発行しております。学術大会・咬合フォーラム・研修会などの受付手続きや単位申請(申請方法は会によって異なります)に必要となりますので開催時には必ずご持参頂きますようお願いいたします。

◆ 学会ホームページの「会員専用ページ」をご利用ください

- ・勤務先・自宅・お届け先など登録内容の確認・変更
 - ・認定資格・単位取得状況の確認
 - ・年会費のお支払(カード決済), お支払状況の確認
- ※コンビニ・郵便振替をご希望の方は事務局までご連絡ください

- ・2015年度の年会費の納入がまだお済みでない方は, 至急お振込みをお願いいたします。
- ・過去に未納分がございますと, 認定試験, 認定医の更新, 学術大会への参加ができませんのでご注意ください。
- ・学会からの発送物は郵便及びメール便を利用しています。メール便の場合は転送されませんのでお届けできない場合がございます。勤務先の変更, 転居等登録内容に変更が生じた場合は, 至急変更のお手続きをお願いいたします。
- ・「会員専用ページ」のご利用には, 会員ID(会員No)とパスワードが必要です。ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。